

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	質の高い薬剤師を持続的に輩出するための薬剤師国家試験対策学修支援				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	山田 浩
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	賀川 義之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	眞鍋 敬
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	石川 智久
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	伊藤 邦彦
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	渡辺 賢二
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	内田 信也
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	古島 大資
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	山田 浩

講演題目	質の高い薬剤師を持続的に輩出するための薬剤師国家試験対策学修支援
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>医療の高度化及び多様化に伴い、薬剤師が身につけるべき資質の向上に関する社会的ニーズが高まっている。そのような背景を基に開始された、6年制薬学教育のアウトカム評価に相当する新形式の薬剤師国家試験では、薬剤師の基礎的資質を評価する「必須問題」、薬剤師の必須知識を基にした薬学理論の習得を評価する「薬学理論問題」、医療・実務現場で直面する課題を総合的な知識・技術により解決する能力を確認する「薬学実践問題」に分けられており、高度な専門性を求める出題（合計345問）となっている。本学薬学部では、医療の進歩に対応できる専門的な知識・技術を有し、高い資質を身につけた薬剤師の養成を目指し、新カリキュラムに基づいた講義・演習を実施してきた。静岡県における医療体制の充実と我が国における保健医療に対する本学薬学部の貢献のためには、卒業生の薬剤師国家試験の高い合格率を維持することが重要である。そこで本申請研究では、「質の高い薬剤師」を本学が継続的に輩出し、薬剤師国家試験の高い合格率を維持するための教育体制の充実、教育環境の改善を行うとともに、薬剤師に求められる「知識・技能・態度」の醸成を実現する。その成果として、新卒80名の受験者中95.00%合格、全体で87.13%（88/101）と、3公立中1位、国公立中6位という合格率トップクラスという高水準を維持している。薬学部で学ぶカリキュラムは年々難易度が上がっているため今後もこの水準を維持するには革新的な対応も必要になるかもしれない。</p>